

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 芸術 科目 書道I

教科：芸術 科目：書道I 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 組～ 組

使用教科書：（書道I 東京書籍）

教科 書道I

の目標：

- 【知識及び技能】 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

科目 書道I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の幅広い表現や鑑賞の活動を通して、習得されたり活用されたりする知識と効果的に表現するための技能を身に付ける。	作品の構想と表現の工夫、鑑賞における思考、判断を身に付ける。	主体的に学習に取り組む態度、生涯にわたり書を愛好する心情を身に付ける。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		漢 仮	漢	仮							
1 学 期	A 書写から書道へ 【知識及び技能】 用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解できる。用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解できる。日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 中学校書写で学んだ漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した効果的な表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫できる。漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを感じて捉えられる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の表現の意図に基づく表現、漢字仮名交じりの表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。書のよさや美しさを感じ、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。	・指導事項 書写で学んできたこと。用具・用材。漢字の書の成立と変遷。 ・教材 教科書 書道道具 ・一人1台端末の活用 等				【知識及び技能】 共通事項 ※ 用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解している。用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解している。・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 中学校書写で学んだ漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した効果的な表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫している。漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを感じて捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の表現の意図に基づく表現、漢字仮名交じりの表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。書のよさや美しさを感じ、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。					4
	B 漢字の書 楷書 【知識及び技能】 表現・楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解できる。鑑賞・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解できる。楷書の古典に基づく基	・指導事項 古典に基づく学習。 楷書の特徴 表現を比べよう。「九成宮醜泉銘」「孔子廟堂碑」「雁塔聖教序」「自書告身」 ・教材 教科書 書道道具 ・一人1台端末の活用 等				【知識及び技能】 共通事項 ※ 表現・楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。鑑賞・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、楷書の古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けて					18
	C 創作 表現の使い分け 鑑賞 【知識及び技能】 共通事項 ※ 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解できる。	・指導事項 古典を生かそう。書の美や風趣を味わおう。 ・教材 教科書 書道道具 ・一人1台端末の活用 等				【知識及び技能】 共通事項 ※ 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。漢字の書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に					4
2 学 期	D 漢字の書 行書 【知識及び技能】 行書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解できる。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解できる。行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けられる。 【思考力、判断力、表現力等】 行書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫できる。行書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを感じて捉えられる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の表現の意図に基づく表現、行書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。行書のよさや美しさを感じ、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。	・指導事項 行書の特徴 「蘭亭序」「争坐位文稿」「風信帖」 ・教材 教科書 書道道具 ・一人1台端末の活用 等				【知識及び技能】 共通事項 ※ 行書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 行書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。行書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを感じて捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の表現の意図に基づく表現、行書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。行書のよさや美しさを感じ、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。					16
	E 創作 四字熟語 鑑賞	・指導事項 古典を生かそう。書				【知識及び技能】 共通事項 ※ 用具・用材の					

	<p>【知識及び技能】共通事項 ※ 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解できる。</p>	<p>の美や風趣を味わおう。 ・教材 教科書 書道道具 ・一人1台端末の活用 等</p>	○	○	<p>特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。漢字の書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に</p>	○	○	○	4	
	<p>F 平仮名の単体</p> <p>【知識及び技能】用具・用材の特徴と表現効果との関わり、線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解できる。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】平仮名の成立を理解し特徴を捉えられる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、仮名の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組むことができる。</p>	<p>・指導事項 仮名の成立 ・教材 教科書 書道道具 ・一人1台端末の活用 等</p>	○	○	<p>【知識及び技能】共通事項 ※ 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】平仮名の成立を理解し特徴を捉えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、仮名の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	8	
3 学期	<p>G 書初め</p> <p>【知識及び技能】書初めの歴史的背景を知る。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】字形、構成等の要素と表現効果を理解できる。漢字と平仮名のバランスを考えられる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】明確な目標設定を立てられる。</p>	<p>・指導事項 書初め ・教材 教科書 書道道具 ・一人1台端末の活用 等</p>	○	○	<p>【知識及び技能】共通事項 ※ 書初めの歴史的背景を知る。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】字形、構成等の要素と表現効果を理解している。漢字と平仮名のバランスを考えられる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】明確な目標設定を立てられる。</p>	○	○	○	2	
	<p>H 散らし書き</p> <p>【知識及び技能】用具・用材の特徴と表現効果との関わり、線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、仮名の古典の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組むことができる。</p>	<p>・指導事項 全体構成 ・教材 教科書 書道道具 ・一人1台端末の活用 等</p>	○	○	<p>【知識及び技能】共通事項 ※ 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、仮名の古典の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	4	
	<p>I 漢字仮名交じりの書 創作</p> <p>【知識及び技能】用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解できる。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。目的や用途に即した効果的な表現や、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身に付けられる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫している。創造された作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えられる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、漢字仮名交じりの書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。漢字仮名交じりの書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。</p>	<p>・指導事項 漢字仮名交じりの書の変遷。表現を比べよう 表現の工夫。紙面構成。 ・教材 教科書 書道道具 ・一人1台端末の活用 等</p>	○	○	<p>【知識及び技能】共通事項 ※ 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。目的や用途に即した効果的な表現や、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫している。創造された作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、漢字仮名交じりの書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。漢字仮名交じりの書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	10	
									合計	70

※各単元の「知識・技能」には、評価規準として設定はしていないが、下記〔共通事項〕も評価において配慮できるようにする。  
〔共通事項〕・用筆・運筆から生み出される書の表現性とその表現効果との関わりについて理解している。  
・書を構成する要素について、それら相互の関連がもたらす働きと関わらせて理解している。





高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 芸術(音楽) 科目 音楽 I

教科： 芸術(音楽) 科目： 音楽 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書： ( 高校生の音楽 I )

教科 芸術(音楽) の目標：

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わうことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		歌	器	創						
歌唱『校歌／翼をください』 バランスのよい姿勢、呼吸の仕方、声の響かせ方を身につけ、曲想と歌詞との関わり、旋律の特徴、言葉の抑揚を理解し、自己のイメージをもって表現を創意工夫して歌う	・ 歌うときの姿勢、呼吸の仕方、声の響かせ方に注意して、音楽表現を工夫して歌唱する ・ 歌詞の内容を深く捉え、曲想との関わりを理解し、曲のもつ雰囲気や味わいを理解して歌唱する ・ 旋律の特徴や言葉の抑揚を理解して、イメージに合った表現を工夫する	○				【知識及び技能】 ・ 曲想と歌詞との関わりについて理解している ・ 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 音色、旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 正しい発声を身に付けて表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている	○	○	○	4
器楽<ギター>『きらきら星変奏曲』 変奏曲や編曲について理解するとともに、《きらきら星》の旋律をもとに創意工夫して器楽合奏に親しむ	・ ギターの構造や基礎的な奏法を理解する ・ ギターで音階を演奏する ・ イメージをもって《きらきら星》の変奏曲を演奏する ・ 完成した作品をグループごとに発表する		○			【知識及び技能】 ・ ギターの基礎的な知識、技能を習得する ・ 音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している ・ 創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、音楽を形づくっている要素の働きを表現する技能を身に付けている 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 個人や器楽アンサンブルで演奏することに関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている	○	○	○	10
歌唱<西洋のうた>『Caro mio ben/サンタ・ルチア』 イタリア語の発音の特徴や、リズムと旋律との関わりを理解し、歌詞の内容にふさわしい表現を創意工夫して歌唱する	・ イタリア語の発音の特徴を理解する ・ イタリア語のアクセントやリズムと旋律との関わりを理解する ・ 歌詞の内容を理解し、表現を工夫して歌う	○				【知識及び技能】 ・ 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している ・ 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している 【思考力、判断力、表現力等】 ・ リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている 【学びに向かう力、人間性等】 ・ イタリア語による歌唱や曲の雰囲気を生かした表現に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている	○	○	○	6
楽典『楽譜、音名、音符と休符』 音楽を味わうのに必要な要素となる楽譜や音に関する知識を理解する	・ 楽譜のしくみを理解する ・ 英・独・伊・日の音名を理解する ・ 音楽表現記号を理解する ・ 音符や休符といった、音楽を再現するために必要な知識を理解する			○		【知識及び技能】 ・ 音楽を味わうために必要な要素となる知識を身に付けている 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 知識を学ぶために積極的に取り組んでいる	○	○	○	4

2 学 期	鑑賞 『組曲 動物の謝肉祭/交響詩 魔法使いの弟子』  標題音楽について理解し、情景を思い浮かべながら曲を聴き、登場する人や物、物語の各場面がどのように音楽で表現されているのか、考察する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 標題音楽について理解し、感じ取る</li> <li>・ 動物の謝肉祭の楽曲を分析する</li> <li>・ ゲーテの詩『魔法使いの弟子』を読み、情景を思い浮かべながら曲を聴く</li> <li>・ 登場する人や物、物語のシーンがどのように音楽で表現されているかについてグループで話し合う</li> </ul>				○	○	○	○	2
	リズム創作『クラッピン グカルテット 第1番』  手拍子やボディーパーカッション、唱歌、打楽器などを用いて音色を工夫したり、リズムパターンを即興で変化させたりして、表現を創意工夫してリズム合奏する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ グループを組み、『クラッピン グカルテット』を演奏できるようにする</li> <li>・ リズムパターンを躍動感をもって表現する</li> <li>・ 手拍子やボディーパーカッション、唱歌、打楽器などを組み合わせ、リズムパターンを音色豊かに、生き生きと演奏する</li> <li>・ 音の素材やリズムを工夫し、テーマを表現する</li> </ul>				○	○	○	○	8
	合唱  自分にとってイメージが湧きやすい詩、短歌、俳句などを選んで、音楽のもとになる「サウンドピース」や「メロディーの骨格」をつくり、それをもとに自己のイメージをもって創意工夫して音楽をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 詩、短歌、俳句などをもとにイメージを膨らませて、音楽で表現する</li> <li>・ 音素材を選び、「サウンドピース」や「メロディーの骨格」をつくる</li> <li>・ 音楽を形づくっている要素を手がかりに、自分のイメージに合うように音楽をつくる</li> </ul>				○		○	○	6
	楽典『拍子、音程』  音楽を味わうのに必要な要素となる楽譜や音に関する知識を理解する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 拍と拍子の違いを理解する</li> <li>・ 音の構造を理解する</li> <li>・ 音程の概念を理解する</li> </ul>						○	○	10
	鑑賞『民族音楽』  世界各地の民族音楽に触れ、特徴を理解し、楽器や背景などとの関わりについて理解する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民族音楽の概要を理解する</li> <li>・ 世界の民族音楽や楽器の名称とその特徴を理解する</li> <li>・ 『ケチャ』の体験をする</li> </ul>				○		○	○	6

3 学 期	鑑賞『日本の民謡と民俗芸能』 日本の民謡や民族芸能の分類を知り、民謡で用いられる音階の特徴やリズム様式を理解した上で、用いられている楽器、衣装、踊りなどの特徴を理解する	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の民謡や民俗芸能の分類を学ぶ</li> <li>民謡のさまざまな音楽を聴く</li> <li>民謡の特徴について調べ、民謡で用いられる音階の特徴やリズム様式を理解する</li> <li>音楽だけでなく、用いられる楽器、衣装、踊りなどの特徴を理解する</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>【知識及び技能】</li> <li>我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴及び文化的・歴史的背景について理解している</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>音色、リズム、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>民謡の音楽や文化に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている</li> </ul>						6
	鑑賞『音楽の聴き方』 ボレロについて、曲の構成や工夫を知り、音楽の聴き方を学び、様々な奏者の演奏や現代音楽を聴き、表現の自由や多様さを感じる	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボレロの特徴や曲の構成や工夫を知る</li> <li>様々な奏者の演奏や現代音楽を聴き、表現の自由や多様さを感じる</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>曲の構成や工夫を理解する</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>ボレロや現代音楽に興味・関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている</li> </ul>						2
	鑑賞『ポピュラー音楽』 音楽に関する知的財産権＝著作権 ポピュラー音楽のジャンルや、歌詞に込められたアーティストの主張を理解し、曲にふさわしい歌い方や表現を創意工夫してポピュラー音楽に親しむとともに、芸術活動を支える著作権について理解する	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポピュラー音楽のジャンルを理解する</li> <li>ジャズの歴史を知り、鑑賞能力を高める</li> <li>ジャズを鑑賞し、歴史やその特徴と照らし合わせながら味わう</li> <li>芸術活動を支える著作権について理解する</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>【知識及び技能】</li> <li>曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わり、及び様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している</li> <li>ジャズの歴史や特徴について理解している</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、どのように歌ったり演奏するかについて表現意図をもっている</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>ポピュラー音楽や音楽の著作権に関心をもち、主体的・協働的に取り組もうとしている</li> </ul>						4
	日本歌唱『夏の思い出/待ちぼうけ/この道』 鼻濁音や、s音やt音などの子音の発音について学ぶとともに、歌詞の内容や曲の背景を理解し、強弱などに注意して曲にふさわしい表現を創意工夫して歌う	<ul style="list-style-type: none"> <li>鼻濁音やs音、t音などの子音に注意し、日本語の美しい発音に留意して歌う</li> <li>日本歌唱の特徴を理解する</li> <li>歌詞の内容を理解し、作曲者の強弱の指示をもとに、ふさわしい表現を工夫して歌う</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>【知識及び技能】</li> <li>言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している技能 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>音色、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている歌詞の内容や曲の背景に関心をもち、主体的・協働的に歌唱している</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>歌詞の内容や曲の背景に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている</li> </ul>						8

年間授業計画様式例

都立翔陽高等学校令和4年度 教科 芸術 科目 音楽Ⅱ 年間授業計画

教科：芸術 科目：音楽Ⅱ 単位数：2単位

対象学年組：第2学年 選択者

使用教科書：（ 高校生の音楽（教育芸術社） ）

使用教材：（ ）

	指導内容	科目 音楽Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	オリエン 課題テスト	授業の意義と目的を知る 楽語のテストを行う	意欲、関心、態度 筆記	1
	レポート発表 楽典 音名、音符	任意の作曲者について発表を行う 五線譜の読み方、音名、音符（休符）の種類について理解する	意欲、関心、態度 ワーク	1
	リズム ソルフェージュ ピアノ体験	八分音符（休符）のリズムが正確に叩ける 簡単な旋律が聴音できる 簡単なピアノ楽曲が演奏できる	意欲、関心、態度 実技	4



	指導内容	科目 音楽Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	リズム ソルフェージュ ピアノ体験	十六分音符（休符）・三連符のリズムが正確に叩ける 簡単な旋律が聴音できる 簡単なピアノ楽曲が演奏できる	意欲、関心、態度 実技	6
	楽典 楽譜の工夫	バッハの楽譜において、作風について理解する	意欲、関心、態度 ワーク	1

	指導内容	科目 音楽Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6月	リズム ソルフェージュ ピアノ体験	シンコペーションのリズムが正確に叩ける 簡単なコードが聴音できる 簡単なピアノ楽曲が演奏できる	意欲、関心、態度 実技	10
	リズム テスト ソルフェージュ テスト		意欲、関心、態度 実技	1
	標題音楽を鑑賞しよう 「動物の謝肉祭」 「魔法使いの弟子」	標題音楽についての概念を理解し、表現を味わうことができる	意欲、関心、態度 ワーク	2

	指導内容	科目 音楽Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月	リズム ソルフェージュ ピアノ体験	複合拍子のリズムが正確に叩ける 簡単な2声体が聴音できる 簡単なピアノ楽曲が演奏できる	意欲、関心、態度 実技	3

8月	指導内容	科目 音楽Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数

	指導内容	科目 音楽Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	ミュージカル	「オペラ座の怪人」を扱い、ミュージカルの特徴とすばらしさを知る	意欲、関心、態度 ワーク	7
	ヴァイオリンの名曲	メンデルスゾーンの「ヴァイオリンコンツェルト」を扱い、ヴァイオリンの豊かな響きとオーケストラについて学ぶ	意欲、関心、態度 ワーク	2
	もうひとつのショパンコンクール	ドキュメントを通して、ホールの舞台裏について知り、音楽についての教養を養う	意欲、関心、態度 ワーク	2

	指導内容	科目 音楽Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	西洋音楽	ビートルズの楽曲に触れ、西洋のポピュラー音楽を味わう	意欲、関心、態度 実技	4
	ギターコードで弾き歌い「Stand By Me」	ギターでコードを弾けるようにする	意欲、関心、態度 実技	3

	指導内容	科目 音楽Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	ギターコードで弾き歌い「Stand By Me」	ギターでコードを弾けるようにする	意欲、関心、態度 実技	4
	ギターコードで弾き歌い テスト	ギターでコードを弾けるようにする	意欲、関心、態度 実技	1
	リズムで楽しもう「Clapping Quartet No.2」	「Clapping Quartet No.2」を扱い、リズムアンサンブルを経験するとともに、正確なリズムで演奏することができる	意欲、関心、態度 実技	7

	指導内容	科目 音楽Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	リズム発表	リズムアンサンブルを発表し、一体感のある演奏ができる	意欲、関心、態度 実技	2
	日本の民謡	日本の民謡を自ら調べ、その地域独自の文化や特徴を理解する	意欲・関心・態度 ワーク	4



	指導内容	科目 音楽Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	BGMを作ろう	簡単なBGMを創作することができる	意欲・関心・態度 ワーク	6

	指導内容	科目 音楽Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月	アカペラ	木下牧子「花のかず」 「音楽」を使って、アカペラの持つ透明感のある響きを味わうことができる	意欲・関心・態度 実技	6
	発声	発声法と音高を正確に取るためのトレーニングを行い、声楽の技量を高めることができる	意欲・関心・態度 実技	5

	指導内容	科目 音楽Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月	アカペラ	木下牧子「花のかず」 「音楽」を使って、アカペラの持つ透明感のある響きを味わうことができる	意欲・関心・態度 実技	2
	発声	発声法と音高を正確に取るためのトレーニングを行い、声楽の技量を高めることができる	意欲・関心・態度 実技	3
	アカペラ テスト	透明感のある響きを造り、曲想にあった表現ができる	意欲・関心・態度 実技	2

年間授業計画様式例

都立翔陽高等学校令和4年度 教科 芸術 科目 音楽Ⅲ 年間授業計画

教科：芸術 科目：音楽Ⅲ 単位数：2単位

対象学年組：第3学年 選択者

使用教科書：( Joy of Music (教育芸術社) )

使用教材：( 教科書、楽典 )

	指導内容	科目 音楽Ⅲの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	オリエン 課題解説 ソルフェージュ	ソナタ形式について理解し、演奏に生かすことができる 簡単な4声体が聴音できる	意欲・関心・態度 実技 ワーク	2
	ソルフェージュ 楽典 音程 ミュージカル	簡単な4声体が聴音できる 音程について理解し、正確に答えることができる ミュージカルの特徴を理解し、表現することができる	意欲・関心・態度 実技 ワーク	2

	指導内容	科目 音楽 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	ソルフェージュ 楽典 音程 ミュージカル	簡単な4声体が聴音できる 音程について理解し、正確に答えることができる ミュージカルの特徴を理解し、表現することができる	意欲・関心・態度 実技 ワーク	2
	楽典 音階 現代音楽「PCを使った作曲」	長（短）音階とその調号について、正確に答えることができる PCの特性を活かした作曲ができる	意欲・関心・態度 ワーク	6

	指導内容	科目 音楽 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	現代音楽「PCを使った作曲」	PCの特性を活かした作曲ができる	作品	2
	オペラ	オペラの在り方、歴史を知る	鑑賞シート	4

	指導内容	科目 音楽 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月	弾き歌いをしよう 楽典 コード	ピアノの弾き歌いができる 代表的な三和音・四和音を理解する	意欲・関心・態度 実技	4

8月	指導内容	科目 音楽 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数



	指導内容	科目 音楽 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	<p>弾き歌いをしよう イタリア音楽</p>	<p>ピアノの弾き歌いができる イタリア音楽の特徴を理解し、表現できる</p>	<p>意欲・関心・態度 実技</p>	6

	指導内容	科目 音楽 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	にほんのうた「浜辺の歌」 楽典 和声進行	日本の唱歌の良さを味わい、表現できる 和声進行について理解し、カデンツを使った簡単な作曲ができる	意欲・関心・態度 実技 ワーク	4
	公開演奏会	演奏会開催に必要な流れを理解し、実践できる 演奏会に向けて作曲する	意欲・関心・態度 実技 ワーク	2

	指導内容	科目 音楽 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	公開演奏会	演奏会開催に必要な流れを理解し、実践できる 演奏会に向けて作曲する	意欲・関心・態度 実技 ワーク	8

	指導内容	科目 音楽 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	公開演奏会	演奏会開催に必要な流れを理解し、実践できる 演奏会に向けて作曲する	意欲・関心・態度 実技 ワーク	4
	公開演奏会	演奏会を開催する 作曲した曲を発表する	意欲・関心・態度 実技 作品	2

	指導内容	科目 音楽 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月				

	指導内容	科目 音楽 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月				

3月	指導内容	科目 音楽 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数

年間授業計画様式例

都立翔陽高等学校令和4年度 教科 芸術 科目 教養音楽 年間授業計画

教科：芸術 科目：教養音楽 単位数：2単位

対象学年組：第3学年 選択者)

使用教科書：( )

使用教材：( )

	指導内容	科目 教養音楽の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	オリエン 課題テスト レポート・動画発表	楽語のテスト 任意のアーティストについて、紹介する(レポート) 演奏課題について発表する(動画)	意欲・関心・態度 ワーク	2
	楽典 音名、音符	五線譜の読み方、音名、音符(休符)の種類と長さを理解する	意欲・関心・態度	2
	リズム ギター	八分音符(休符)までのリズムを正確にたたけるようにする ギターの音の鳴る仕組みを理解し、音階が弾けるようになる	実技	2



	指導内容	科目 教養音楽の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	リズム テスト ギター	リズムが正確に叩ける ギターの音階と簡単なコード (G, C, D) の練習	意欲・関心・態度 実技	2
	ギター テスト リモート演奏に挑戦!	ギターの音階と簡単なコード (G, C, D) がひける リモート演奏についてやり方を理解し、合奏準備をする	意欲・関心・態度 実技	2
	リモート演奏に挑戦!	リモート演奏の練習をする	意欲・関心・態度 実技	2

	指導内容	科目 教養音楽の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	リモート演奏に挑戦！	リモート演奏の練習をする	意欲・関心・態度 実技	4
	リモート演奏に挑戦！	リモート演奏の動画を完成させる	意欲・関心・態度 作品	2
	グループアンサンブル	グループアンサンブルの準備を行い、練習をする	意欲・関心・態度 ワーク 実技	2

	指導内容	科目 教養音楽の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月	グループアンサンブル	グループアンサンブルの練習を行う	意欲・関心・態度 ワーク 実技	2

8月	指導内容	科目 教養音楽の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数

	指導内容	科目 教養音楽の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	グループアンサンブル発表	任意のアンサンブルを発表し、一体感を味わう	意欲・関心・態度 実技 レポート	2

	指導内容	科目 教養音楽の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	楽典 音名、音符	五線譜の読み方、音名、音符（休符）の種類と長さを理解する	意欲・関心・態度	2
	リズム ギター	八分音符（休符）までのリズムを正確にたたけるようにする ギターの音の鳴る仕組みを理解し、音階が弾けるようになる	実技	2

	指導内容	科目 教養音楽の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	ギター テスト リモート演奏に挑戦！	ギターの音階と簡単なコード (G, C, D) がひける リモート演奏についてやり方を理解し、合奏準備をする	意欲・関心・態度 実技	2
	リモート演奏に挑戦！	リモート演奏の練習をする	意欲・関心・態度 実技	4
	グループアンサンブル	グループアンサンブルの準備を行い、練習をする	意欲・関心・態度 ワーク 実技	4

	指導内容	科目 教養音楽の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	グループアンサンブル	グループアンサンブルの練習を行う	意欲・関心・態度 ワーク 実技	2
	グループアンサンブル発表	任意のアンサンブルを発表し、一体感を味わう	意欲・関心・態度 実技 レポート	2

12月



1月	指導内容	科目 教養音楽の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数

2月	指導内容	科目 教養音楽の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数

3月	指導内容	科目 教養音楽の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数